

聖使命会員取扱者研修会 体験談 ②

昭和51年プロボクサーだった主人の酒びたりの生活から夫婦不調和で生長の家に御縁を受けました。どんなきっかけであろうと、生長の家に導いて下さった主人には心から感謝しております。

まず神様に繋がりましょうと言われ聖使命会員となりました。言われるままに先祖供養をし、練成会に参加し、明るい言葉を使うように心がけました。中心帰一・主人にハイを実行しました。言葉の力で主人をダメにしたのに気付き、日本一の主人と心の中で言いつづけました。

それから主人はボクシングを引退して自分でボクシングジムを造り沢山の選手を育ててきました。日本チャンピオンも数名誕生させ名実ともに日本一の主人となりました。その他にも数多くのお陰を頂いてきました。

今回は昨年5月に主人が特志会員となってからの出来事をお話したいと思います。神様に全托することと、神様と大きなパイプで繋がることで、神様と波長が合い、日々の導きと神様の愛に取り巻かれていることへの発見の毎日であることを報告いたします。

実は、私は娘の体調不良により、二人の孫育てにかかわっておりました。5年間家庭の中で過ごしました。家庭生活が練成の場であるとの思いで過ごして来ました。そして、5年間を経て、昨年4月二人の孫も小学校・保育園に行くようになり、昼間は少し手が空くようになり教化部へも少しずつ出かけるようになりました。ちょうど特志会員への呼びかけもあり、主人をなんとなく特志に昇格しました。商売をしておりますので資金繰りも気がかりでしたが、もう全て神様に全托しようと決めました。心の中ではいつも、神よ神よと唱えていました。

5月に主人を特志会員にしたら、なんだか嬉しくて楽しくて、5年間のブランクもありましたので、もっと真理を学びたいという気が起こって、準教務の受験勉強にも取り掛かりました。神が私となって御業を為さしめたもう。その言葉が私の中に繰り返されました。

特志会員になり、まず第一に6月よりボクシングジムの経費が30万円減少になりました。次に私は昔から強度の近眼でしたが、孫を抱くたびに

壊され、3個壊された時には神様は眼鏡はいらないと言われているのかと眼鏡なしの生活をしておりました。8月の運転免許更新時には本当に眼鏡不要となっていました。

又同じく8月眼科に行くと去年眼底出血して「うちでは出来ないので大きな病院で手術をして下さい」と言われていたのに其のまま放っておいたのが「不思議だ、自分でバイパスをつくって治っています」と言われました。内なる神様に感謝しました。

9月になると我が家のすぐ裏の家が空き家になり、家主さんが「お孫さんがいつも来ておられるようなので借りてもらえませんか」と言ってこられ、敷金なし、礼金なし等好条件で娘家族が引っ越して来ました。これにより、一日に娘の家を何往復もしていたのが無くなり孫たちは自由に両方の家を行き来出来るようになりました。

私は地区連会長をしておりますが、「同志を集めるための祈り」もしております。10月には仲間が4名増えました。益々活気づいてきました。同じく10月講師会より副会長にと声を掛けて頂き、私に出来ることがあればとお引き受けいたしました。

12月に受験の発表があり、準教務に合格しました。寸暇を惜しんでの受験勉強でしたが、苦痛は感じられずむしろ喜びでした。コトバが創る、必ず受かるとの思いでの受験でした。

これらは主人を特志会員にしてからの今までの6か月間に起こった出来事です。神様に繋がること、波長を合わすことであふるるばかりの恵みの中にいることを発見する毎日です。（60代 女性）



Free Download